



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 297
December
2017

トピックス

国際会議への参加

第7回UN-SPIDER 北京年次
会合

●国際会議への参加 第7回UN-SPIDER 北京年次会合

国際連合宇宙局（UNOOSA : United Nations Office for Outer Space Affairs）と中華人民共和国民政部（Ministry of Civil Affairs of the People's Republic of China）が主催する第7回UN-SPIDER 北京年次会合（The 7th Annual UN-SPIDER

Conference in Beijing）が、2017年10月23日から25にかけて北京で開催

されました。この催しは、34か国・8地域の宇宙機関及び防災機関等から約100名の代表者が参集、関係機関への訪問なども含む3日間のプログラムでした。なお、ADRCは22日に北京に向かう航空便が台風の影響により欠航となり、24日午後からの参加になりました。



<10月24日午後>

この日午後からのセッション3のテーマは「災害リスク評価と緊急応答のための技術統合」で、国連食糧計画、北京師範大学、非営利活動機関である“Continuum Planning and Development Trust, India”、インド内務省から、それぞれの取組に関する報告がなされました。とりわけ国連食糧計画の報告では、発災後72時間以内の事態評価について、サイクロン・パム（バヌアツ2015/3/6）、南アジア大洪水（バングラデシュ 2017/8-9、スリ・ランカ 2017/5、ネパール2017/8）を事例として、食糧支援の意思決定に影響する評価指標が示されました。

休憩後のパラレルセッションでは、ADRCは「緊急時対応の統合用具と系統」に参加しました。このセッションでは、ワールド・ビジョン・インターナショナル、ジンバブエ市民保護局、インドネシア国立航空宇宙学研究所（LAPAN）から、それぞれ報告がありました。このうち、毎年のように発生するジャワ中部のバンジャルヌガラでの地すべりに関するLAPANの報告では、センチネルアジアの貢献に対して感謝が述べられました。

<10月25日>

この日は会議の最終日で、午前は本会議のセッション4、5と続き、午後に機関見学が実施されました。

セッション4のテーマは「防災及び気候変動にかかる激甚災害のための地球観測、地球航行衛星システム、電気通信のための統合アプリケーション」で、ニューキャッスル大学（イギリス）、北京大学（中国）、デルタ州立大学（アメリカ）の順で報告が行われました。

ニューキャッスル大学の報告はInterferometric SAR（干渉合成開口レーダー）による中国四川省アバ・チベット族チャン族自治州茂県新磨村の地すべりに関するもので、北京大学はPolarimetric SAR（偏波合成開口レーダー）による熊本地震（ALOS PALSAR PolSAR, 2016年4月21日）等の被災状況解析に関するものでした。これらはどちらも、緊急応答及び被災状況評価に合成開口レーダー衛星の利用が一層容易になることを期待するものでした。

続いてセッション5のテーマは「UN-SPAIDER ネットワークとの連携と関与」でした。ADRCはこのセッションの最後に、Sentinel Asiaの取組と国際チャーターへのエスカレーションを通して、UN-SPIDERのRSO（Regional Support Office）としての役割を果たしていることを報告しました。その中で、モハマッド・ビン・ラシャド宇宙センターの

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

続き

Sentinel Asia参画や8月の九寨溝地震へのSentinel Asiaの画像提供を例にとって、災害に対するボランティアな取り組みが今後一層促進されることを参加者に訴えました。

午後は中国国家減災センターと中国科学院宇宙技術展示センターへの二班に分かれて施設見学が行われましたが、ADRCは中国国家減災センターの見学に参加しました。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。